

事業所名

児童発達支援センター さんぽるて

支援プログラム(児童発達支援)

作成日

2024 年

12 月

1 日

法人(事業所)理念		法人理念・利用者主体のニーズの追求 ・ナンバーワンの福祉サービスを目指す ・職員が働きやすい環境作り	事業所理念・[家庭][病院(医療・リハビリ)] [事業所]の3者で連携し、 子ども達が「その子らしく」そして、安心安全に通える様に支援を行う				
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまやご家族が安心・安全に通える環境を提供する中で、様々な体験や人との関わりを通してお子さまの育ちの充実を図ります ・お子さまの医療ケアのニーズや発達段階を丁寧に把握し、ご家族を含めたお子さま一人ひとりのニーズに応じた総合的な支援の提供を目指します ・地域の関係機関や他の事業所との連携を通して、お子さまの育ちを共有し、地域での生活に繋がっていきます 					
営業時間		9 時 00 分から 15 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり	(なし)	家庭の事情により送迎が困難などやむを得ない場合のみ実施	
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態の把握、健康の維持や改善 : 毎日健康状態を確認することで、細やかな体調の変化を把握し対応します ・生活リズムの維持と確立、生活習慣の形成 : 家庭と事業所での食事や睡眠などの様子を共有し、必要な支援をご家族とともに考え実施します ・基本的な生活スキルの獲得 : お子さまの現状を把握し、できかけていることやできそうなことから取り組むことで、生活スキルの獲得に繋がります 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢と運動、動作の基本的技能の向上 : お子さまの現状を把握し、興味関心を活用しながら、幼児期に必要な身体や手先の動きを取り入れた遊びや活動を実施します ・身体の移動能力の向上 : お子さまの心身の発達に合った身体動作に繋がるよう、理学療法士とともに環境の調整や活動設定をします ・感覚の特性への対応 : お子さま一人ひとりの感覚の特性に配慮した環境設定、遊びの提供を行います 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・認知特性の把握、理解と対応 : お子さまの認知特性を把握し、お子さまの興味関心を活用しながら分かりやすいかわり方を実施していきます ・周囲の状況の理解とそれに対する行動 : お子さまの行動や様子を観察し、お子さまにとって分かりやすい情報の示し方を把握し、理解や行動に対する支援をしていきます ・行動障害への予防と対応 : お子さまの行動の理由を踏まえ、お子さまに合ったかわり方を考え実施することで、行動障害の予防と対応をしていきます 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの把握と基礎的な能力の向上 : コミュニケーションの様子を把握し、今できている方法を使ったコミュニケーションの機会を設定します ・人との相互的なコミュニケーションの能力の獲得 : お子さまの表出のサインに大人が気づき応じることからはじめ、伝えたい気持ちを育みます ・コミュニケーション手段の選択と活用 : お子さまに合ったコミュニケーション手段を用いることにより、手段の獲得と定着、人や場面の広がりにつなげていきます 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント(愛着)の形成と安定 : 大人との安心できる関わりの中で、家族以外の人(大人や同世代の子ども)との関わりを積み重ね、愛着の形成や信頼に繋がっていきます ・あそびを通じた社会性の発達 : お子さまの興味関心のある遊びを取り入れて大人や他児とかわることで、より相手への意識が向かうような機会を取り入れていきます ・自己の理解と行動の調整、集団への参加 : 様々な遊びや体験を通して、小集団での活動に参加することで、他者と自分のかかわり(他者に合わせる、待つなど)の機会を取り入れていきます 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント(愛着)の形成 : 家族がお子さまのかかわりに手ごたえを持ち、安定・充実した生活へ繋がっていくよう、お子さまの観察を通して理解し、かわり方と一緒に考えさせていただきます ・家族から(きょうだいを含む)の相談 : 定期的な面談や電子連絡帳の活用により、お子さまの特性や理解について情報共有し、ご家族の状況に合わせた支援を提供します ・障害の特性に配慮した家庭環境の整備 : 必要に応じた家庭訪問や聞き取りを通してお子さまに合った家庭環境を一緒に考えていきます ・家族が我が子の障がい特性の理解に繋がるよう、家族向けの勉強会を実施します ・保護者同士のかかわりの場として、定期的な茶話会を開催します 		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、園等への移行支援 : 学校、園などと情報共有をしながら移行に向けた取り組みを行います ・就園、就学に向けた移行の準備 : 支援の中に「移行」という視点を取り入れお子さまの成長にとって適した学びの場を検討します ・お子さまの様子やセンターでの支援など、必要な支援が次のステージに繋がるようご家族と一緒に準備をしていきます ・保育園等との併行利用 : スムーズな移行ができるよう、移行に向けた支援、移行先との連携を行っていきます 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにかかわる地域の関係者や関係機関と連携した支援 : 関係機関や医療機関と連携し、お子さまやご家族の支援・サービスの提供を行います 		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な勉強会の実施により、障がいや特性に関する知識の向上に努めます ・関係機関との連携を行う中で、個々や地域ニーズの把握に努め、幅広い視野を持った支援の提供を目指します 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節の活動 : 初詣、水遊び、散歩、ハロウィン、お買い物、落ち葉遊び、クッキング、季節の制作など ・季節の行事 : 親子遠足、夏祭り、運動会、クリスマス会、卒園式など ・ご家族向け : 参観日、懇談、保護者向け勉強会、茶話会、先輩保護者を招いての茶話会など 					